専門高校における、産学連携の希望に関するアンケート調査結果（2026年9月）

NTT-EAST Confidential

目次

アンケート調査概要	**3**
調査目的及び調査方法、有効回答の内訳	4
アンケート調査結果分析	**5**
1.主な分析結果の概要	6
まとめ – 産学連携の現状及び希望する連携、事業活用意向	7
まとめ – 専門高校のニーズを踏まえた、連携のポイント	8
参考用 – 現時点の企業登録状況	9
2.全体の分析結果	10
産学連携の実施状況	11
産学連携における課題	12
連携を希望する学科	13
連携を希望する形態	14
連携を希望する業種	15
本事業の活用意向	16
3.学科別の分析結果	17
連携を希望する形態	18
連携を希望する業種	19
希望する連携内容キーワード	20

NTT-EAST Confidential

アンケート調査概要

NTT-EAST Confidential

調査目的及び調査方法

■調査目的

- 本調査は、専門高校等における産業界との連携・協働の実施状況や、企業・団体との連携に関する具体的なニーズを把握し、本事業による効果的な連携支援の基礎資料とすることを目的に実施した。

■調査方法

- 47都道府県の教育委員会より全国の専門高校にアンケートを依頼。371件の回答を得た。
- アンケート調査実施期間は、
  2026年9月18日(金)～2026年10月16日(金)で実施。
- アンケート分析期間は、
  2026年10月19日(月)～2026年11月6日(金)で実施。
- アンケートはWEBフォームで実施。

■調査対象

- 全国の高等学校のうち、農業、工業、商業、水産、家庭、看護、情報、福祉等の職業教育を主とする学科、およびその他職業的・実践的な学びを行う学科を設置する学校を対象とした。なお、普通科や総合学科等との併設校を含む。

■有効回答の内訳

設置学科	有効回答(件)
工業	137
商業	118
農業	74
家庭	44
福祉	26
情報	16
水産	14
看護	14
総合学科	56
その他職業学科	9
合計	508

※学科は複数回答可のため、回答数の合計は有効回答数(n=371)を上回る。

NTT-EAST Confidential

アンケート調査結果分析

NTT-EAST Confidential

1. 主な分析結果の概要

NTT-EAST Confidential

まとめ – 産学連携の現状及び希望する連携、事業活用意向

- 多くの専門高校ですでに産学連携が実施されており、本事業の活用にも前向きな意向がみられる。
- 企業の専門性や現場の知見を生かした実践的な学びへのニーズが高い一方、連携に伴う調整や費用が課題となっている。

産学連携の状況	• 「年間を通して継続的に実施している」が57.1%（212件）と最も多く、半数以上の学校が継続的な産学連携に取り組んでいる。 • 「単発的に実施している」は33.4%（124件）であり、継続・単発を合わせると、**90.5%が産学連携を実施している。** • 「実施していない」は9.4%（35件）にとどまり、産学連携は多くの学校において既に実施されている。
産学連携における課題	• 「企業との調整に関する負担が大きい」が218件で最も多く、連携先との調整負担が大きな課題となっている。 • 「予算や費用の確保が難しい」も213件と多く、連携に必要な費用や移動手段の確保が課題として挙げられている。 • 「校内での調整が難しい」が202件であり、時間割や学校行事との調整など、校内における実施体制の構築も課題となっている。
連携を希望する専門高校の学科	• 回答校のうち、連携を希望する学科として、工業が154件、商業が124件、農業が90件と多く挙げられた。 • 設置学科数の多い工業・商業・農業に加え、家庭・情報・福祉など、設置学科数が限られる学科においても企業との連携が希望されている。
連携を希望する形態	• 「出前授業（講師派遣）」が291件で最も多く、企業等の専門人材による学校内での授業へのニーズが特に高い。 • 「企業・職場見学の受入」は256件であり、実際の仕事や職場環境に触れる機会が求められている。 • 「インターンシップの受入」も210件と半数を超え、実践的な就業体験に対するニーズが高い。
連携を希望する業種	• 「製造業」が241件で最も多く、技術指導やものづくりに関する連携へのニーズが高い。 • 「情報通信業」は207件であり、デジタル技術やICT、先端技術に関する学びへの関心が高い。 • 「卸売業・小売業」142件、「建設業」140件など、希望する業種は幅広く、各学科や地域の産業特性に応じた連携が求められている。
本事業の活用意向	• 回答校のうち、「活用したい」または「内容によっては活用したい」と回答した学校は合わせて72.0%（267件）となり、全体の約7割が本事業の活用に前向きな意向を示している。

NTT-EAST Confidential

まとめ – 専門高校のニーズを踏まえた、連携のポイント

- 専門高校では産学連携への関心が高く、企業の業務・技術・社員の経験を生かした実践的な学びが、幅広い学科で求められている。
- 企業が無理なく提供できる内容から始め、対応可能な時期・方法・費用負担等を具体的に示しながら学校と調整することで、連携の実現につながる。

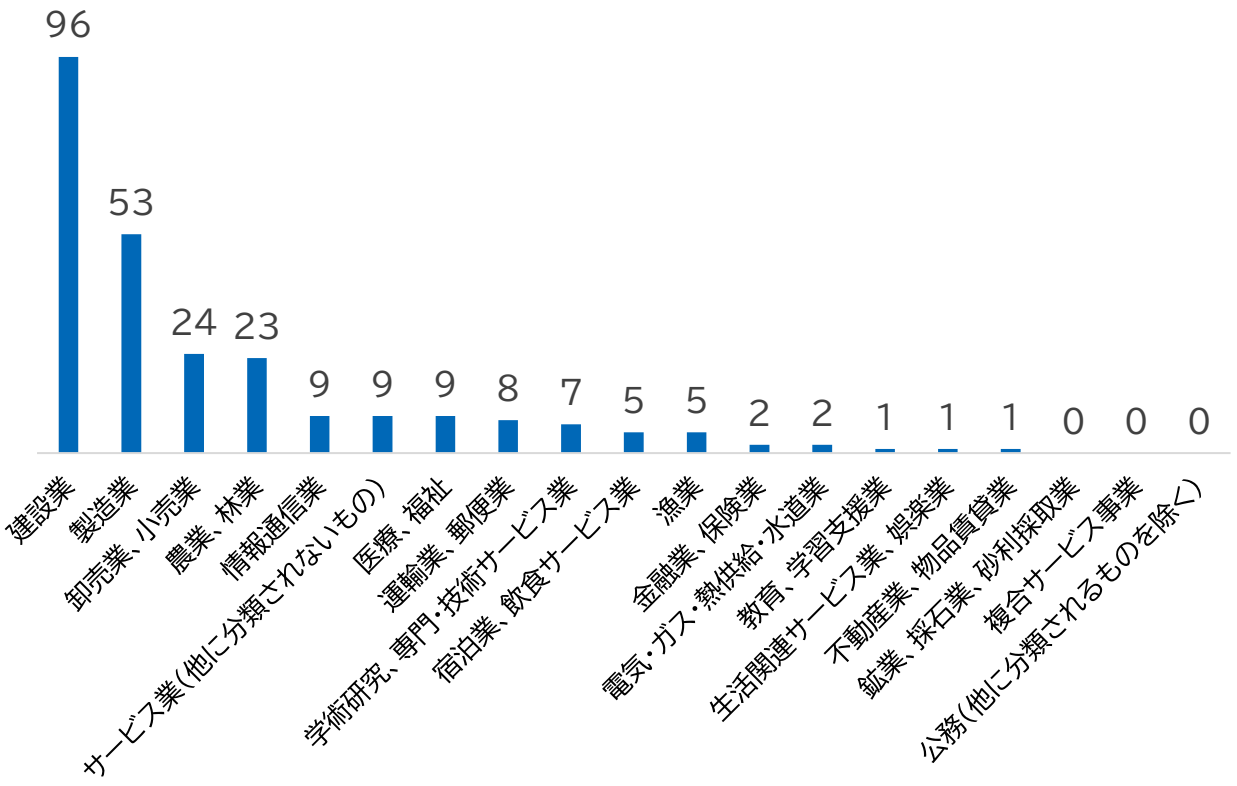
項目	アンケートから見えるニーズ	学校との連携におけるポイント
産学連携への意向	• 回答校の90.5%が産学連携を実施しており、企業が参画しやすい環境が広がりつつある。 • 回答校の72.0%が本事業の活用に前向きであり、製造業・情報通信業を中心に、幅広い業種との連携が希望されている。	• 産学連携へのニーズは高く、本事業を通じて多様な企業に参画の余地がある。 • 自社の技術・職種・取組を、生徒に提供できる学びとして整理し、無理なく提供できる内容から学校との接点を広げることが有効である。
希望する連携内容	• 出前授業、企業・職場見学、インターンシップを中心に、企業の専門人材や実際の仕事・職場に触れる実践的な学びが求められている。 • 設置学科数の多い工業・商業・農業に加え、家庭・情報・福祉など、設置学科数が限られる学科においても企業との連携が希望されており、学科によって学習テーマや希望する連携形態は異なる。	• 企業が日頃取り組んでいる業務や保有する技術、社員の経験そのものが、生徒にとって実践的な学びとなり得る。 • 出前授業や職場見学など、企業側も無理なく取り組みやすい形から始め、連携を希望する学科の特徴や要望に応じて内容・形態を調整することで、幅広い連携につながる。
連携におけるハードル	• 学校が負担を感じる点として、企業との日程・内容の調整、予算や費用の確保が挙げられている。 • あわせて、時間割や学校行事との調整など、校内での実施体制の整備にも負担が生じている。	• 学校・企業双方の事情を踏まえ、実現可能な連携の形を探ることが重要である。 • 企業側が対応可能な時期や実施方法、費用負担等を具体的に示し、学校と相談しながら調整することで、双方に無理のない連携につながる。

NTT-EAST Confidential

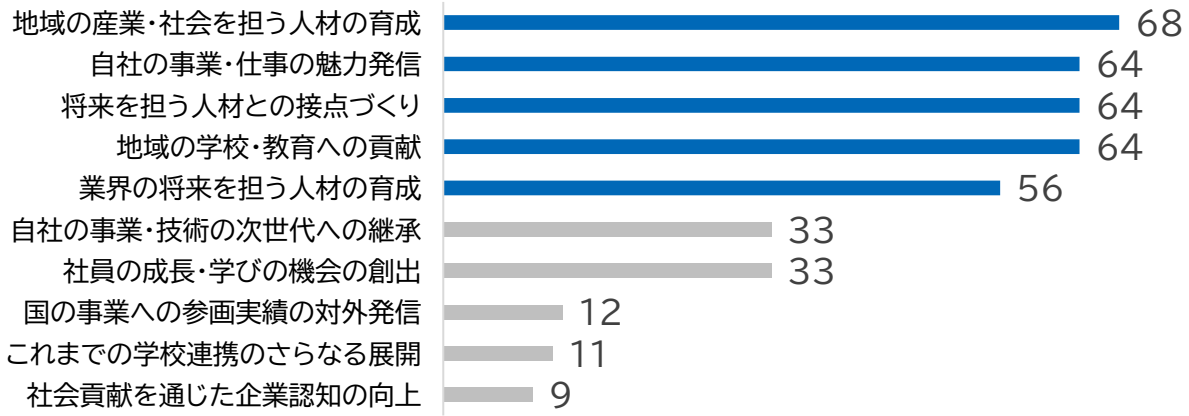
参考用 – 現時点の企業登録状況

- 10月時点では、建設業を中心に、幅広い業種から企業登録が寄せられている。
- 登録の動機は地域貢献が最も多く、次いで自社の魅力発信や将来を担う人材との接点づくりが挙げられている。

■業種別の登録状況



■登録の動機(定量)



■登録の動機(定性)

- 地域貢献
  - 地域産業が活発であることが、自社事業にも良い影響を与える。地域産業の担い手となる人材の育成を通じて、地域産業/地域社会の活性化に貢献したい。(情報通信業/東京)
- 自社/仕事の魅力発信
  - 建設業には「大変そう」といったイメージがあり、仕事の面白さを知ってもらう前に選択肢から外れてしまうことがある。実際はICTを活用した仕事も増えてきていて、昔とはだいぶ変わってきているので、イメージとは違った魅力を伝えたい。(建設業/岐阜)

NTT-EAST Confidential

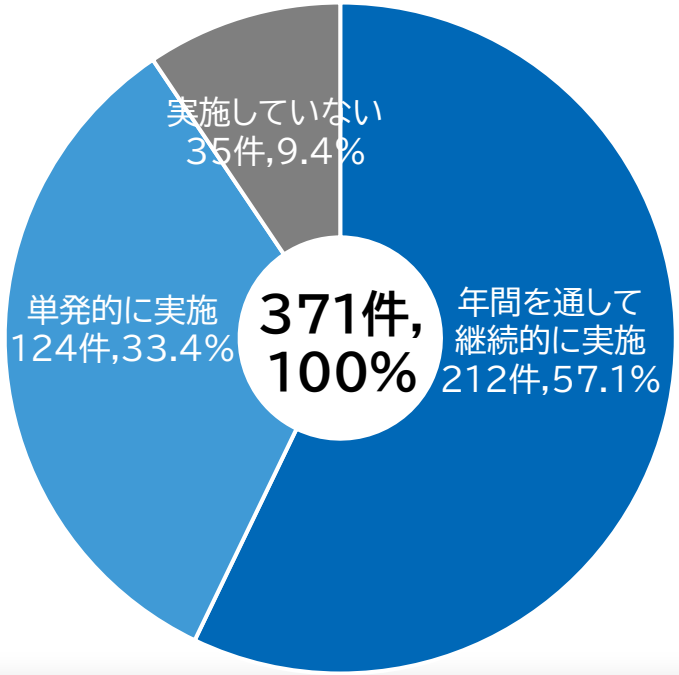
2. 全体の分析結果

NTT-EAST Confidential

産学連携の実施状況

- 「年間を通して継続的に実施している」が57.1%（212件）と最も多く、半数以上の学校が継続的な産学連携に取り組んでいる。
- 「単発的に実施している」は33.4%（124件）であり、継続・単発を合わせると、**90.5%が産学連携を実施している。**
- 「実施していない」は9.4%（35件）にとどまり、産学連携は多くの学校において既に実施されている。

Q. これまでの産学連携の実施状況について – 産学連携の実施状況



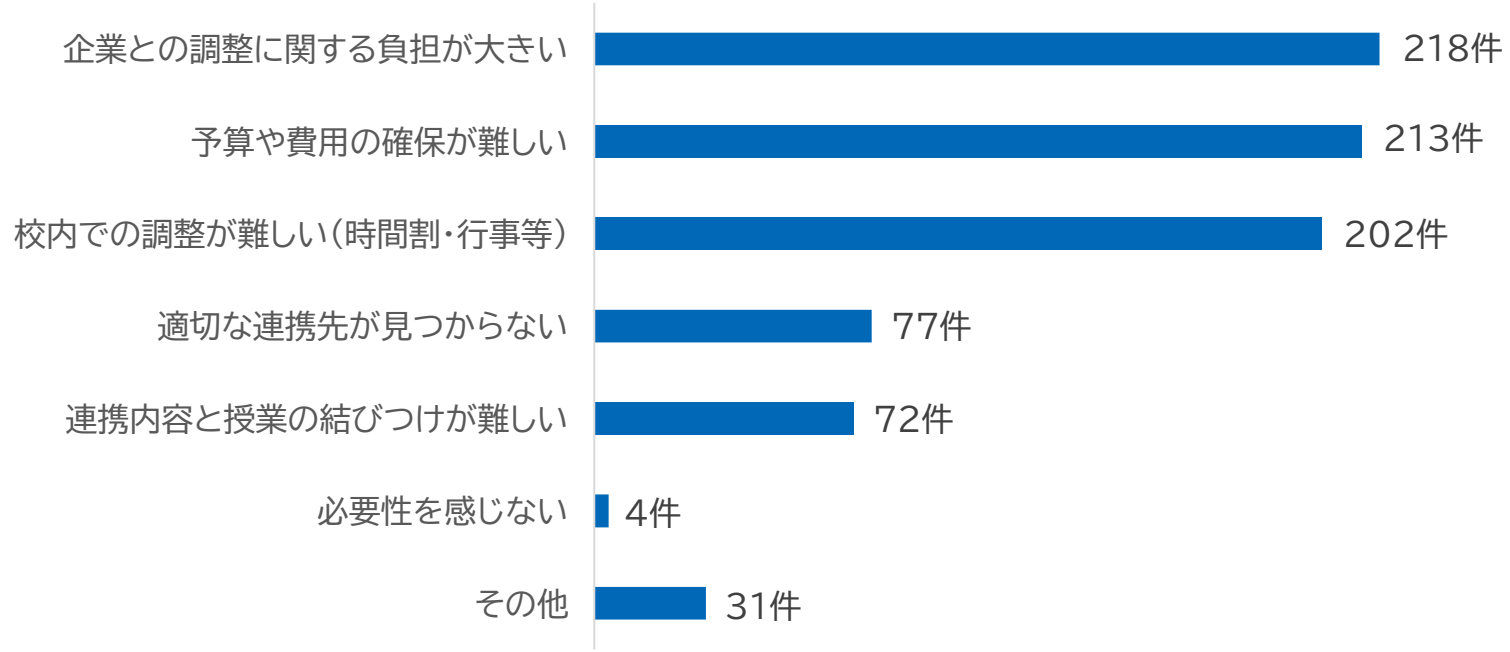
専門高校の約9割が産学連携を実施しており、企業が参画しやすい環境が広がりつつある。
まずは提供可能な内容から、学校との連携を始めることが有効である。

NTT-EAST Confidential

産学連携における課題

- 「企業との調整に関する負担」が218件で最も多く、連携先との調整負担が大きな課題となっている。
- 「予算や費用の確保」も213件と多く、連携に必要な費用や移動手段の確保が課題として挙げられている。
- 「校内での調整が難しい」が202件であり、時間割や学校行事との調整など、校内における実施体制の構築も課題となっている。

Q. これまでの産学連携の実施状況について – 産学連携における課題（複数回答）



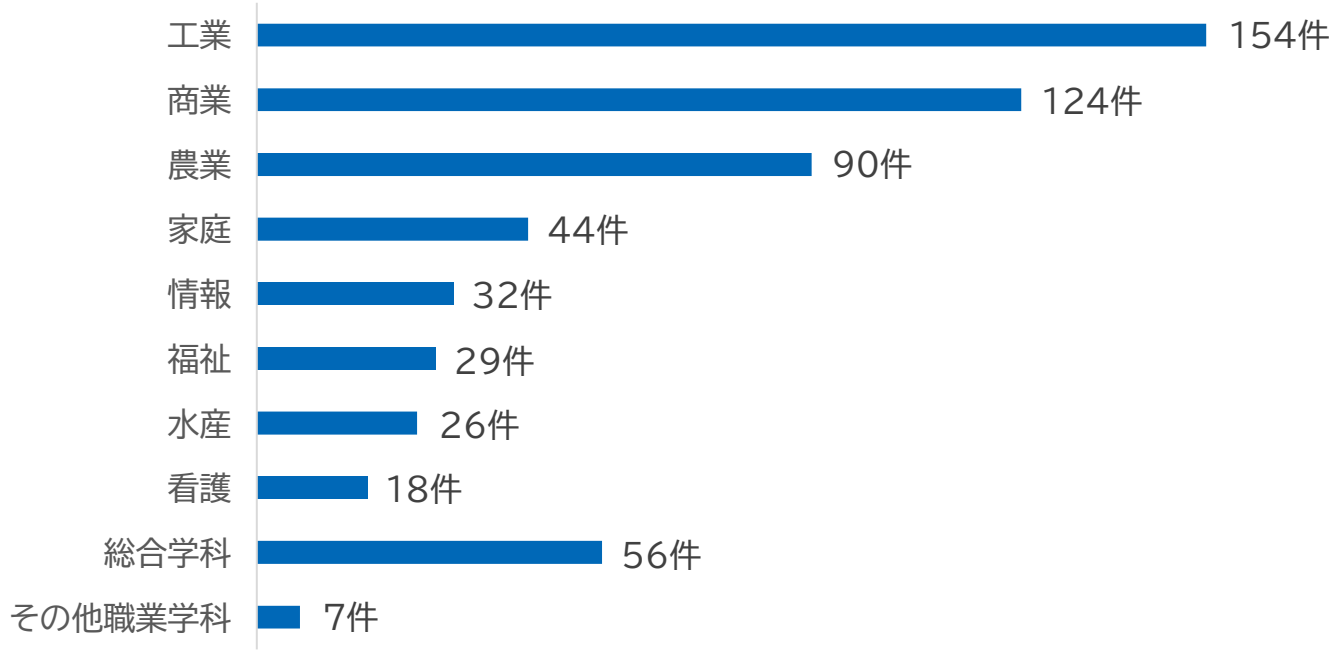
学校・企業双方の事情や負担を踏まえ、実現可能な連携方法を探ることが重要である。対応可能な時期や実施方法、費用負担等を具体的に共有し、無理のない形で調整することが連携の実現につながる。

NTT-EAST Confidential

連携を希望する学科

- 回答校のうち、連携を希望する学科として、工業が154件、商業が124件、農業が90件と多く挙げられた。
- 設置学科数の多い工業・商業・農業に加え、家庭・情報・福祉など、設置学科数が限られる学科においても企業との連携が希望されている。

Q. 産学連携に関する要望について – 連携を希望する学科（複数回答）



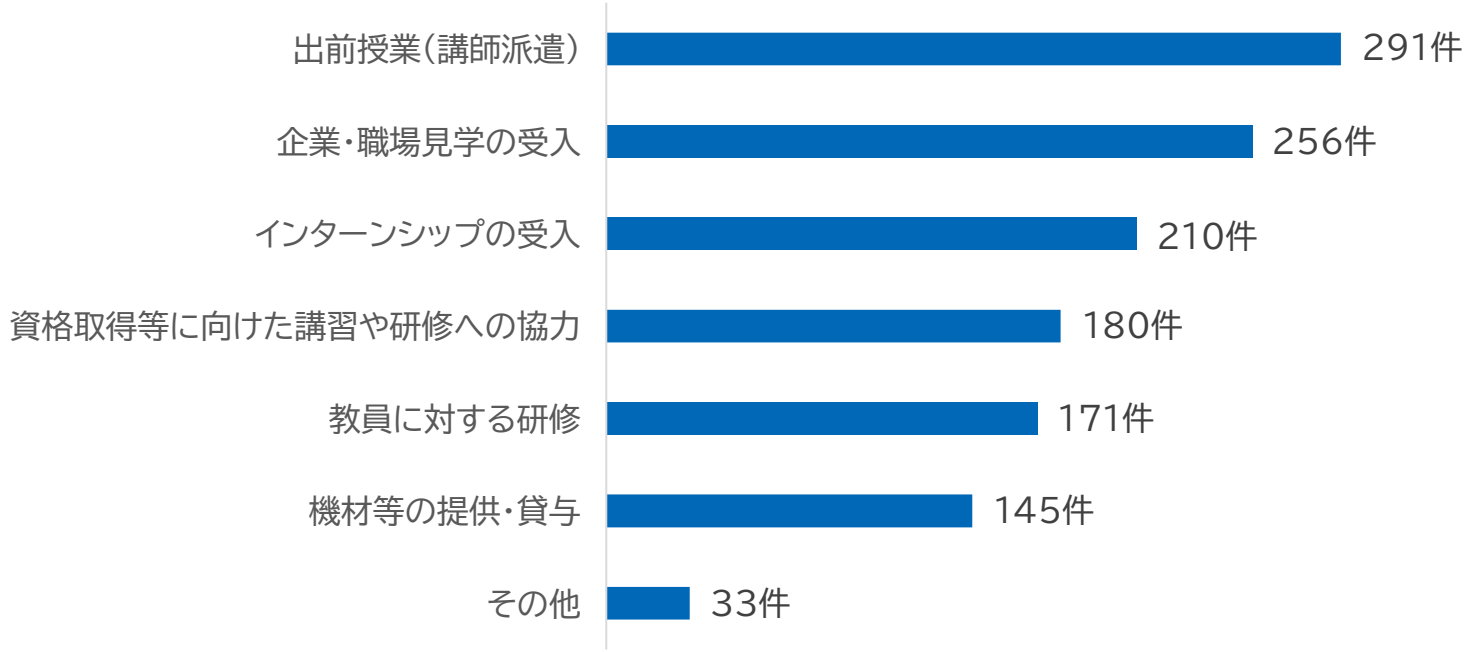
企業には幅広い学科と連携できる可能性がある。自社の専門分野にとどまらず、関連技術や仕事、社会課題などにテーマを広げることで、新たな学科との連携機会につながる。

NTT-EAST Confidential

連携を希望する形態

- 「出前授業(講師派遣)」が291件で最も多く、企業等の専門人材による学校内での授業へのニーズが特に高い。
- 「企業・職場見学の受入」は256件であり、実際の仕事や職場環境に触れる機会が求められている。
- 「インターンシップの受入」も210件と半数を超え、実践的な就業体験に対するニーズが高い。

Q. 産学連携に関する要望について – 連携を希望する形態(複数回答)



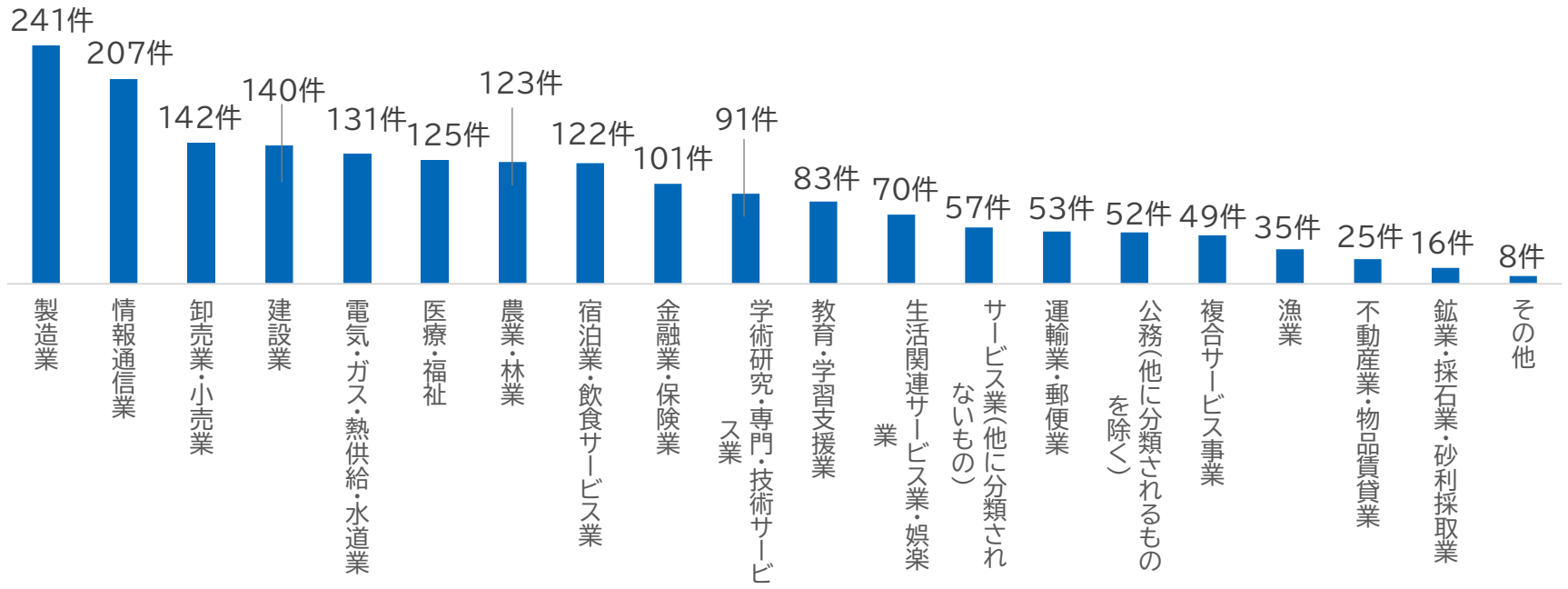
企業の専門性や現場を生かした実践的な学びが、広く求められている。まずは出前授業や企業・職場見学など、自社で実施可能な形態をプログラムに取り入れることが、学校との連携を始める有効な選択肢となる。

NTT-EAST Confidential

連携を希望する業種

- 「製造業」が241件で最も多く、技術指導やものづくりに関する連携へのニーズが高い。
- 「情報通信業」は207件であり、デジタル技術やICT、先端技術に関する学びへの関心が高い。
- 「卸売業・小売業」142件、「建設業」140件など、希望する業種は幅広く、各学科や地域の産業特性に応じた連携が求められている。

Q. 産学連携に関する要望について – 連携を希望する業種（複数回答）



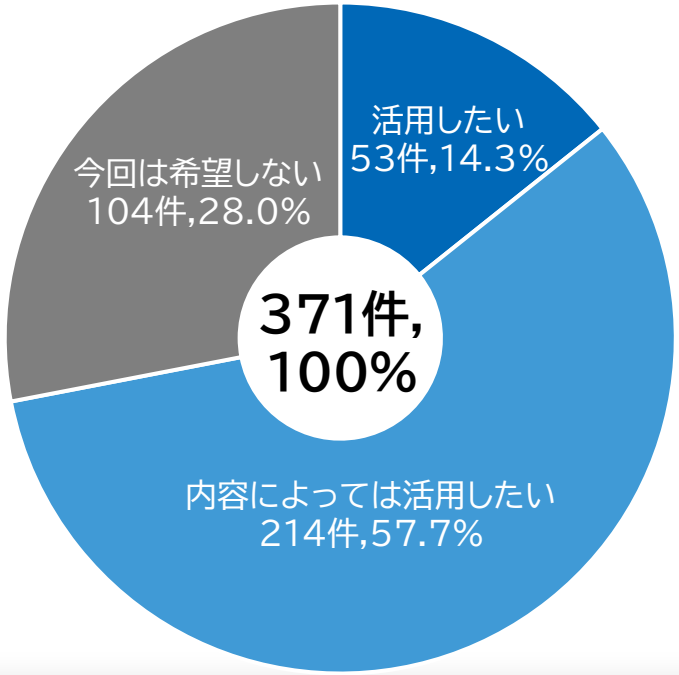
製造業・情報通信業を中心に、幅広い業種との連携が希望されており、多様な企業に参画の余地がある。

NTT-EAST Confidential

本事業の活用意向

- 回答校のうち、「活用したい」または「内容によっては活用したい」と回答した学校は合わせて72.0%（267件）となり、全体の約7割が本事業の活用に前向きな意向を示している。

Q. 本事業の活用に関する意向について – 本事業の活用希望



「内容によっては活用したい」とする学校が多いことから、
企業が提供できる学びを具体的に示すことが、学校の活用判断を後押しし、連携の実現につながる。

NTT-EAST Confidential

3. 学科別の分析結果

NTT-EAST Confidential

学科別 – 連携を希望する形態

- 「出前授業」はすべての学科で6割を超え、水産（85.7%）、農業（83.8%）、総合学科（82.1%）で特に高い。「企業・職場見学」も総合学科（78.6%）、農業（77.0%）、家庭（75.0%）などで高い。
- 総合学科・家庭・水産では「インターンシップ」が7割を超える一方、工業では「資格講習・研修」（62.8%）と「機材提供・貸与」（53.3%）、情報では「教員研修」（57.1%）へのニーズも高い。

設置学科	回答数（n）	出前授業（講師派遣）	企業・職場見学の受入	インターンシップの受入	資格取得等に向けた講習や研修への協力	教員に対する研修	機材等の提供・貸与	その他
工業	137	76.6%	74.5%	62.0%	62.8%	57.7%	53.3%	10.9%
商業	118	80.5%	67.8%	47.5%	46.6%	45.8%	36.4%	11.0%
農業	74	83.8%	77.0%	66.2%	43.2%	52.7%	45.9%	8.1%
家庭	44	79.5%	75.0%	70.5%	38.6%	38.6%	34.1%	6.8%
福祉	26	73.1%	73.1%	42.3%	53.8%	50.0%	46.2%	7.7%
情報	16	75.0%	56.3%	43.8%	31.3%	56.3%	43.8%	18.8%
水産	14	85.7%	71.4%	71.4%	42.9%	57.1%	35.7%	0.0%
看護	14	64.3%	57.1%	42.9%	50.0%	35.7%	21.4%	7.1%
総合学科	56	82.1%	78.6%	73.2%	42.9%	30.4%	28.6%	3.6%
その他職業学科	9	100.0%	55.6%	44.4%	33.3%	22.2%	22.2%	11.1%
全体	**371**	**78.4%**	**69.0%**	**56.6%**	**48.5%**	**46.1%**	**39.1%**	**8.9%**

※設置学科は複数回答、割合は各設置学科の回答数を分母として算出。

出前授業や職場見学は幅広い学科で希望される一方、学科ごとに特徴的なニーズもみられる。
連携を希望する対象の学科に合わせて連携形態を整えることで、効果的な連携につながる。

NTT-EAST Confidential

学科別 – 連携を希望する業種

- 農業は「農業・林業」90.5%、工業は「製造業」88.3%、水産は「漁業」85.7%、看護は「医療・福祉」85.7%、情報は「情報通信業」75.0%と、各学科の専門分野と直接関連する業種へのニーズが高い。
- 一方、商業では情報通信業・卸売小売業・製造業など、総合学科では製造業・医療福祉・卸売小売業など、複数の業種にニーズが分散しており、学科によって希望業種の集中度が異なる。

設置学科	回答数（n）	製造業	情報通信業	卸売業、小売業	建設業	電気・ガス・熱供給・水道業	医療、福祉	農業、林業	宿泊業、飲食サービス業	金融業、保険業	学術研究、専門・技術サービス業	教育、学習支援業	生活関連サービス業、娯楽業	サービス業（他に分類されないもの）	運輸業、郵便業	公務（他に分類されるものを除く）	複合サービス事業	漁業	不動産業、物品賃貸業	鉱業、採石業、砂利採取業	その他
工業	137	88.3%	77.4%	22.6%	67.2%	78.8%	17.5%	17.5%	16.1%	17.5%	26.3%	16.8%	10.2%	10.9%	12.4%	12.4%	10.2%	2.9%	6.6%	6.6%	1.5%
商業	118	61.9%	74.6%	66.9%	25.4%	25.4%	31.4%	28.0%	58.5%	61.0%	30.5%	27.1%	31.4%	32.2%	19.5%	22.0%	23.7%	11.0%	15.3%	3.4%	1.7%
農業	74	60.8%	28.4%	32.4%	39.2%	10.8%	33.8%	90.5%	18.9%	14.9%	25.7%	27.0%	13.5%	10.8%	5.4%	13.5%	6.8%	4.1%	1.4%	1.4%	1.4%
家庭	44	47.7%	36.4%	38.6%	27.3%	20.5%	59.1%	40.9%	54.5%	25.0%	13.6%	36.4%	40.9%	20.5%	6.8%	11.4%	6.8%	6.8%	4.5%	2.3%	0.0%
福祉	26	50.0%	42.3%	30.8%	19.2%	19.2%	73.1%	46.2%	19.2%	11.5%	19.2%	19.2%	19.2%	19.2%	11.5%	15.4%	11.5%	15.4%	3.8%	3.8%	0.0%
情報	16	31.3%	75.0%	37.5%	18.8%	31.3%	12.5%	6.3%	31.3%	37.5%	50.0%	12.5%	12.5%	12.5%	18.8%	12.5%	12.5%	6.3%	12.5%	6.3%	0.0%
水産	14	57.1%	35.7%	42.9%	0.0%	7.1%	28.6%	14.3%	35.7%	14.3%	28.6%	21.4%	7.1%	14.3%	50.0%	14.3%	14.3%	85.7%	0.0%	0.0%	7.1%
看護	14	28.6%	35.7%	35.7%	28.6%	28.6%	85.7%	28.6%	28.6%	14.3%	21.4%	14.3%	14.3%	7.1%	14.3%	14.3%	14.3%	14.3%	7.1%	7.1%	0.0%
総合学科	56	66.1%	46.4%	57.1%	39.3%	32.1%	60.7%	41.1%	42.9%	39.3%	25.0%	30.4%	26.8%	16.1%	25.0%	17.9%	19.6%	12.5%	7.1%	5.4%	3.6%
その他職業学科	9	44.4%	44.4%	55.6%	22.2%	33.3%	33.3%	11.1%	44.4%	33.3%	22.2%	22.2%	22.2%	22.2%	22.2%	0.0%	22.2%	11.1%	22.2%	0.0%	0.0%
全体	**371**	**65.0%**	**55.8%**	**38.3%**	**37.7%**	**35.3%**	**33.7%**	**33.2%**	**32.9%**	**27.2%**	**24.5%**	**22.4%**	**18.9%**	**15.4%**	**14.3%**	**14.0%**	**13.2%**	**9.4%**	**6.7%**	**4.3%**	**2.2%**

※設置学科は複数回答、割合は各設置学科の回答数を分母として算出。

学科によって、専門分野に直結する業種へのニーズと、幅広い業種へのニーズがみられる。自社と直接関連する学科に限らず、仕事や技術を生かせる学科まで対象を広げることで、連携の可能性が高まる。

NTT-EAST Confidential

学科別 – 希望する連携内容キーワード

- 農業・工業・情報では、AI・ICT等の先端技術を実務に結び付けて学ぶ連携が求められ、商業・総合学科では商品開発や地域課題の解決に取り組む連携へのニーズがみられる。
- 全学科を通じて、企業の現場で専門的な知識・技術を体験的に学ぶ機会への期待が高い。

設置学科	主なキーワード
工業	ものづくり、先端技術、DX・AI・ICT、CAD・BIM、技術指導、課題研究、資格
商業	商品開発、マーケティング、販売、経営・会計、金融、DX、地域企業
農業	スマート農業、栽培管理、ICT・AI・ドローン、食品加工、商品開発、現場体験
家庭	調理・食品、保育、福祉・介護、被服・デザイン、商品開発、現場体験
福祉	介護、地域福祉、医療・福祉、福祉機器、地域共生、現場体験、ICT
情報	AI、DX、ICT、プログラミング、システム開発、データ活用、情報セキュリティ
水産	漁業、養殖、水産加工、船舶・海技、現場体験、商品開発
看護	医療現場、看護技術、病院、専門職、資格・進路、実習
総合学科	職場体験、キャリア・進路、地域企業、課題解決、探究、商品開発、分野横断
その他職業学科	商品開発、マーケティング、ものづくり、ICT、資格、地域課題、職業体験

※自由記述回答に含まれる主要な語句や記述内容を類似するテーマごとに整理した。設置学科は複数回答のため、同一回答を複数の学科に含む場合がある。

企業の専門知識や技術を実践的に学ぶ機会は、学科を問わず求められている。また、教育現場では、個々の技術だけでなく、関連する仕事や産業まで視野を広げて学びたいというニーズもみられる。

NTT-EAST Confidential